



2020年11月13日

各位

会社名 株式会社 ミダック
 代表者名 代表取締役社長 加藤 恵子
 (コード番号: 6564 東証・名証第一部)
 問い合わせ先 取締役経営企画部長 高田 廣明
 (TEL.053-488-7173)

2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年5月15日開示の2020年3月期決算短信[日本基準](連結)に掲載した2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と、本日開示いたしました同決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期累計期間 業績予想数値と決算値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,670	686	659	374	28.37
今回実績 (B)	2,795	914	900	471	35.69
増減額 (B-A)	124	228	240	96	
増減率 (%)	4.7	33.3	36.5	25.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	2,424	591	563	287	23.37

(注) 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき3株の割合で、2020年2月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行いました。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

新型コロナウイルス感染症感染拡大による経済活動が停滞する経済状況であったものの、自社が保有する多数の処理施設と許可の優位性を発揮することで、廃棄物の受託量を確保しました。また、中間処理施設については積極的な営業活動による稼働率の向上を目指すとともに、最終処分場については受託量の拡大及び単価の高い廃棄物の受注に注力したことにより、売上高は業績予想数値を上回る結果となりました。

また、最終処分場における単価の高い廃棄物の受注が増加したほか、売上原価、販売費及び一般管理費も減少したため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても業績予想数値を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、前回発表の予想数値を据え置くことにいたしました。今後の業績動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以上